

ココを味わう

歴史的ロケーションに なじませた意匠

建物は「アンパン道路」と呼ばれる道に面しており、また、建設当時、旧豊平町役場の洋館も近くに残っていたことから、歴史を感じさせるデザインにしたという。外壁には焼いた板を使い、耐久性と独特の味わいを持たせている。



快適な居住性と 遊び心が共存

もともと、建築家の倉本氏が1階を事務所、2～3階を自宅として使うために建設。長男の誕生を記念して「たくんち（現在は旧たくんち）」と名付けた。明かり取りの天窗、3階の梁の部分に設置された格子状の細工など、内部にも、居心地の良さと遊び心へのこだわりが感じられる。



■珈房 サッポロ珈琲館 月寒店
TEL.011-856-1105



テラスを臨む窓際席ほか、さまざまな空間を持つ。もとはどんな部屋だったんだろう、と想像するのも楽しい。



現在は珈琲専門店として、近隣住民はもちろん、わざわざ遠方から足を運ぶ人もいるほど人気スポットに。

建造物
[商業施設]

さっぽろの顔を味わう。 第14回 札幌市都市景観賞受賞作品



独特のプロポーションの建築物や樹木が 地域に親しまれる景観へと成熟

豊平区

珈房 サッポロ珈琲館 月寒店

月寒西の住宅地の一角にたつこの建物は、もともと札幌を代表する建築家の自邸として建てられました。内部の改装を経て、現在は喫茶店として使用され地域の人々に親しまれています。外観からは一見木造のように見えますが、木造によってこのようなプロポーションの建物をつくることは容易ではなく、実は鉄筋コンクリート造の構造体に木を外装材として貼っています。建物をよく見ると、細部にわたりさまざまな工夫が施されており、設計者のこの建物に対する熱い思いが伝わってきます。さらに、妻面の幅が狭く背が高いプロポーション、時間を経て生まれた外壁の風情、特色ある開口部、隣接して立つ高木などによって、住宅街の角地に独特の景観がつけられています。

すでに単体建築としての評価が高い建築でしたが、長い時間を経て、使用者と設計者の思いが、景観としてこの地に根付いたことに対して、都市景観賞としてこの建物を評価すべき時期に来たといえるでしょう。

表彰理由

北海道大学大学院工学研究科
准教授 小澤 丈夫

ACCESS

豊平区月寒西1条7丁目

●地下鉄東豊線「月寒中央駅」下車、1番出口より徒歩約5分

- 建設主/倉本 龍彦
- 設計者/有限会社 倉本たつひこ建築計画室
- 施工者/株式会社 古川建設
- 完成年次/昭和47(1972)年、改築/昭和58(1983)年

「アンパン道路」の歴史を今に伝える

明治のはじめ、東京で大ヒットしたアンパンの製法を「想像して」生まれた「月寒あんぱん」。月餅のような、ビート糖と水あめで練った餡がずっしり詰まったお菓子だ。月寒から平岸へ抜ける道を地域住民とともに協力して造った第25連隊の兵隊たちへ、感謝の気持ちを込めて1日5個のアンパンが贈ら

れたことから、今もこの道は「アンパン道路」の名で知られる。現在、月寒アンパンの店は1軒のみ。昔ながらの製法は、変わらない味を伝える(1個115円)。

元祖 月寒あんぱん本舗(株式会社 ほんま)
豊平区月寒東2条3丁目2-1
TEL.011-851-1264

近所
PICK UP!



「珈房 サッポロ珈琲館 月寒店」より徒歩約15分

